

緑の担い手

林業の 担い手として

(有) タカノ
小野瀬 勇次

私は、(有) タカノに入社し、林業という仕事に携わるようになって、今年で十四年になります。私が入社した当初は、会社にはまだ高性能林業機械はなく、伐倒した木をその場でチェーンソーで玉切りし、人力で丸太を移動していました。そんな経験もあって、会社に初めて高性能林業機械が導入され、操作した時は造材や搬出作業が楽になり、とても感激したのを覚えています。

その後は、少しずつ機械や、また共に働く仲間も増えていき、自分自身も益々成長していかなければいけないと感じていました。

そんな中、今回東京都と山梨県で行われたフォレストマネージャー研修に参加する事が出来ました。全国各地から四十五名の研修生が集まり、各林業事業体の方たちとの情報交換や、グループによる討議、演習、ま

た多くの講師の方々による、実体験や取り組み等についての講義を受ける事が出来ました。

そして、自分と似た立場の方や、さらに経験の豊富な方たちとの意見交換は、学ぶ事が多かったのと同時に、林業を担うという事に対して、改めて身の引き締るものがありました。

今回のフォレストマネージャー研修では、持ち帰って取り組むべき課題が沢山ありました。その課題を出来るだけ会社の仲間と共有しながら、より安心、安全な作業環境作りに心掛けて、これからも林業の担い手の一人として、日々頑張っていこうと思います。

